

— 映画館×水族館 ここでしか味わえない、没入感 —

水族館 シネマナイト

2025年 10月 30日

職業訓練校のアップ なんば校 実習生企画

伊藤 鈴緒 / 榎本 佳子 / 實川 智子

企画概要

没入感のある映画体験ができる 水族館で行われる特別なナイトイベント

- ・ サイト名： 水族館シネマナイト
- ・ 概要： 架空の水族館【CLARE AQUARIUM】の3日間の期間限定イベント
夜の水族館で「海」に関する映画鑑賞が出来る。
- ・ 目的： 水族館の認知度向上、ファミリー層以外の顧客獲得、次の来館につなげる
- ・ 詳細： 架空の水族館【CLARE AQUARIUM】の顧客はほぼファミリー層。
来館数が伸び悩んでいるため、ファミリー層以外の新規顧客の獲得を狙う。



サイトURL ※PC環境推奨

https://clarenet.co.jp/column/kensyu/20251030_aquarium/

ターゲット

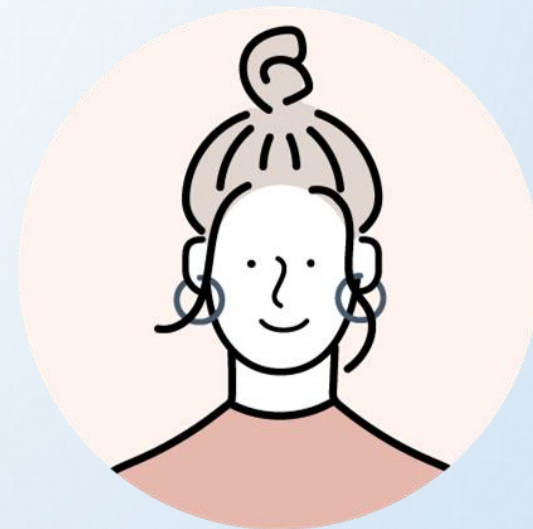
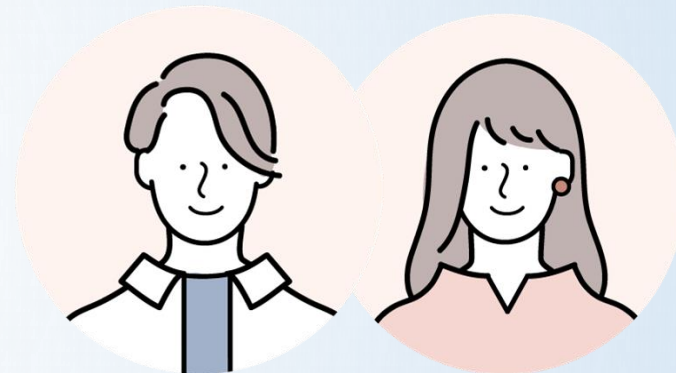
- 年齢層：20代後半～30代
- 大人の一人時間を楽しみたい方
- カップルのデートコースとして使用したい方
- SNSが好きでたくさん写真を撮りたい方

- ペルソナ

女性 35歳 自分の時間を好きに使える余裕がある。

文化施設やアミューズメント施設、おしゃれなカフェ等が好き。

SNSを利用しており、インスタのストーリーに見た映画や行ったところの写真を上げている。



サイト流入経路

- 水族館HPのTOPページにイベントLPのバナーを設置
- 水族館SNSで告知、水族館ご来場者にQR付きチラシを配布
- SEO対策として上位に上がる検索ワードをサイト内にいれる

「映画」「映画館」「水族館」「シネマ」「夜」「ナイト」「デート」「カップル」「映え」「観光」「没入感」「リラックス」「BAR」「カクテル」「特別」「夜の水族館」「タイタニック」「リトルマーメイド」「ジョーズ」等



イベントの特徴

夜の水族館が“映画館”に変わり、ゆったりと映画を鑑賞する、非日常のひとときを体験。くつろげる空間作りと、SNSでの波及を期待し映え意識のドリンクや、夜の水族館を回れる特別な環境を準備。

- ビーズクッション、ペアシート
- 海底Barでドリンクの注文が可能
- 水族館ナイトツアーで普段見ることのできない生き物の姿が見れる
- 映画は3日間日替わり上映



全体デザイン

「海の中」をイメージし全体を青色で統一。
没入感を感じられるよう、全体的に青く暗い中に光がさしているような印象を与えるデザイン。

暗いところと明るいところを分けてメリハリをつけ、中だるみで離脱しないように意識。



デザイン解説

TOP/イベント概要セクション

①チケット購入ボタンは常に表示

→顧客の来館意欲が高まった時点でいつでもチケットを購入できる

②「まるで海底の映画館」というキャッチコピーに沿うように概要部分で海に沈んでいくような印象を与える背景をチョイス。

③あくまでイメージの画像を配置し、実際はどのような体験ができるのか、わくわくしてもらう。浮遊感のあるデザイン。



デザイン解説

上映作品スケジュールセクション

①上映作品スケジュールは端的にまとめて、スクロールをしてもらいやすくする

②映画告知画像が分かり易いように背景は主張の少ないイメージ

③映画のチョイスはジャンルが被らないように、ロマンス、スリラー、アニメーション



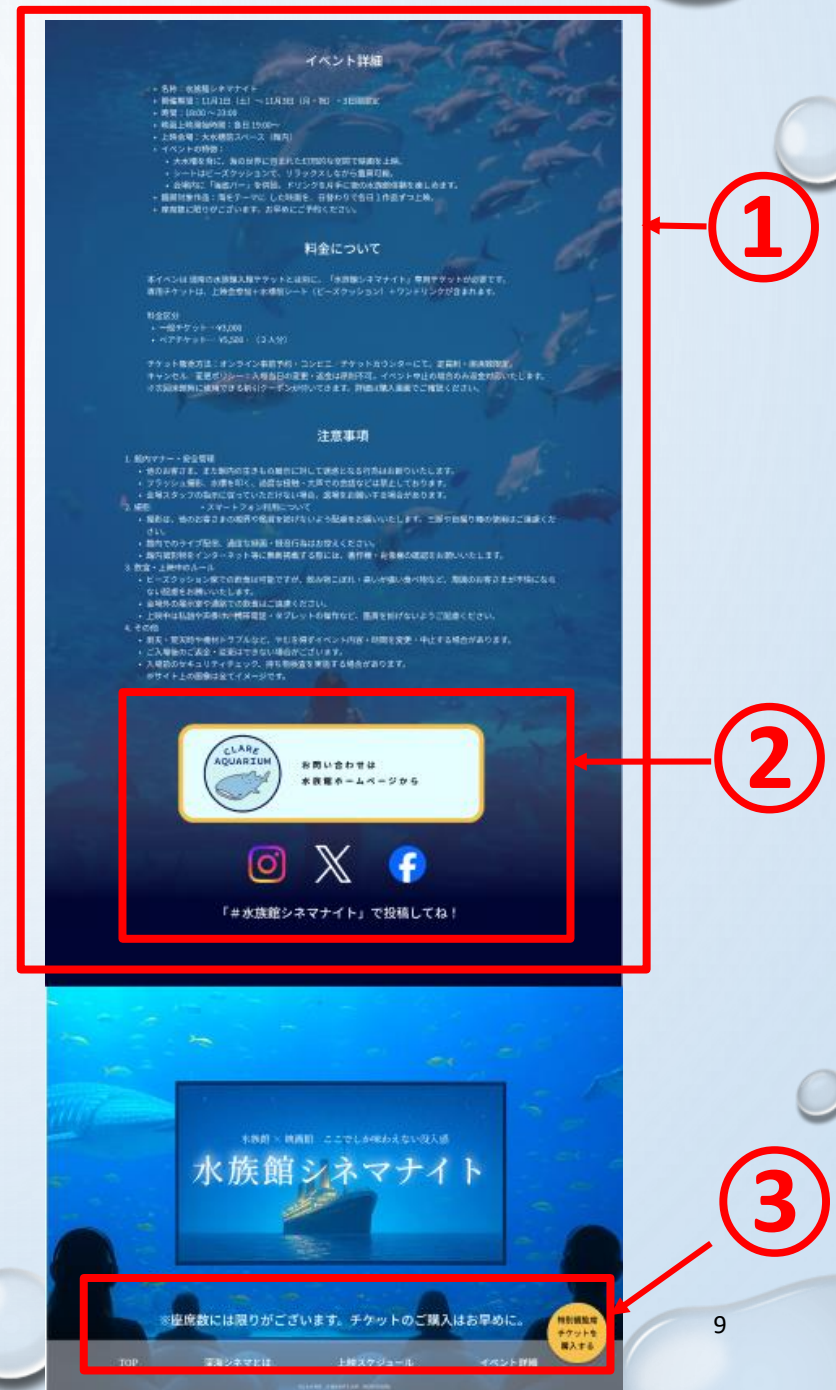
デザイン解説

詳細/クロージングセクション

①詳細部分の背景は水族館の中を連想させるイメージを配置

②本家HPやSNS等のリンクを設置し、HP以外からの流入の人にも安心感を与える設計

③チケット購入を促す文言を最終部分に挿入し、離脱前に購入ボタンを再認識させる



感想

伊藤 鈴緒

担当：ディレクター

グループでサイトを1から作成するのは初めての経験で、反省点が多々あります。

目的やターゲットをしっかりと絞る為の話し合いをあまりできておらず、デザイン作りつつ修正を重ねてギリギリの完成となったので、まずしっかりと土台を作ることの大事さを再確認しました。

メンバーに恵まれたおかげで、とりとめのない内容も形にできたと思うので、まずは要点をまとめる力が更に必要だと気づけました。

良い機会をいただきみなさまに感謝申し上げます。

・作った作品画像



明るく楽しい祝福ムードの中、この先に起こることを知らずに、悲劇に進んで行く様子を表しました。

感想

榎本 佳子

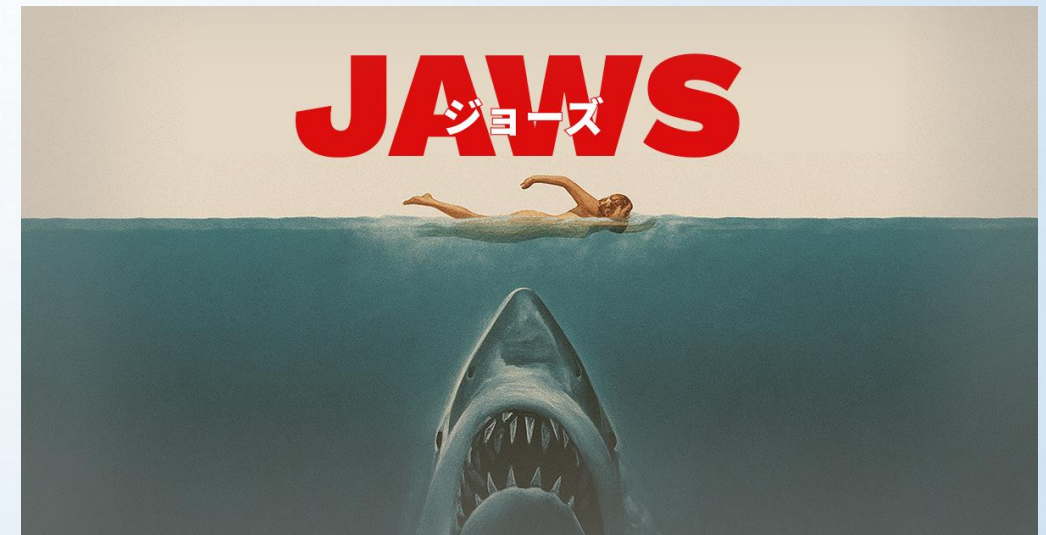
担当：コーダー

今回、映画×水族館という実際にはまだ無いようなイベントがテーマな為、まずどのように集客するのかなど設定をすることが難しかったですが、最終的に自分も行ってみたいと思えるようなサイトができてよかったと思います。

コーディングはまだまだ技術不足だと思いましたが、今回の取り組みでわからない部分を調べて考えて自ら問題を解決しようとする力が身についたと感じます。

グループで一つのものを作るというのは一人で作るよりも違う達成感を感じることができましたし、とても良い勉強になりました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

- 作った作品画像



ロゴの色でポップな印象になりすぎないように、ジョーズの不穏な危険な雰囲気を出すように心掛けました。

感想

實川 智子

担当：デザイナー

グループでひとつの作品を作るのが初めてだったので、自分にはない視点やアイデアが出てくる楽しさや、意見のすり合わせの難しさを学びました。

企画決定に時間がかかってしまったため、作業が同時進行になってしまい、デザインの修正や微調整を繰り返してコーディングに負担がかかってしまったことを反省しています。

また、円滑に作業を進めるためには、それぞれの工程を理解することが大切なのだと実感しました。

グループ制作はとても貴重な経験となりました。

このような機会を与えて頂き、本当にありがとうございます。

- 作った作品画像



人間の世界（陸上）に憧れているアリエルの心情が伝わるように意識しました。人魚のように見えるタイトルの「メ」がポイントです。

ご清聴 ありがとうございました

水族館シネマナイト

2025年 10月 29日

職業訓練校のアップ なんば校 実習生 伊藤 鈴緒/榎本 佳子/實川 智子